

【市民参画による計画づくりについて】

団体ヒアリング・市民未来会議

1 団体ヒアリング

(1) 概要

まちづくりに関わりの深い団体から各分野におけるまちづくりのあるべき姿や課題について意見をいただいた。

(2) 実施団体 33 団体 249 名

NO	団 体 名	分 野	実 施 日		人 数
			日	曜日	
1	三島市NPO連絡会	全般	4月6日	土	8
2	NPO法人みしまびと	全般	5月13日	月	9
3	三島市内大学生	全般	5月16日	木	17
4	社団法人三島青年会議所	全般	7月4日	木	5
5	三島市自治会連合会	全般	11月26日	火	7
6	三島市医師会（3師会で行う）	健康・福祉	5月15日	水	3
7	三島市老人クラブ連合会	福祉	4月5日	金	13
8	三島市民生委員児童委員協議会	福祉	4月10日	水	9
9	三島市障がい者団体連絡会	福祉	6月4日	火	10
10	三島市中央女性学級	教育	5月15日	水	7
11	市内小中学校新規採用教員	教育	5月17日	金	17
12	三島市子ども会連合会	教育	3月29日	金	1
13	三島市PTA連絡協議会	教育	5月30日	木	6
14	三島市国際交流協会	文化	4月15日	月	6
15	三島市文化芸術協会	文化	5月31日	金	11
16	三島宿研究会	文化	5月5日	日	8
17	三島市女性懇話会(構成8団体)	文化・教育	5月17日	金	10
18	三島市スポーツ関係団体連合会	スポーツ	5月29日	水	10
19	三島市消防団	防災	4月18日	木	11
20	三島市防災指導員	防災	4月26日	金	10
21	三島警察署管内防犯サポーター	防犯	4月17日	水	8
22	三島地区環境保全推進協議会	環境	5月17日	金	7
23	三島市消費者連絡協議会	生活	5月8日	水	8
24	社団法人静岡県建築士会東部ブロック三島地区	都市基盤	4月12日	金	3
25	三島市建設事業協同組合	都市基盤	4月17日	水	9
26	バス3社会（伊豆箱根鉄道、富士急バス、沼津登山東海バス）	都市基盤	4月19日	水	5
27	三島市観光協会	観光	5月8日	水	2
28	三島市ふるさとガイドの会	観光	5月17日	金	4
29	三島商工会議所	産業	4月15日	月	3
30	三島函南農業協同組合	産業	6月11日	火	2
31	ガーデンシティみしま推進会	ガーデンシティ	5月27日	月	2
32	花サポーターみしま	ガーデンシティ	6月14日	金	7
33	三島市保健委員会	スマートW	5月29日	水	11
	合計				249

2 市民未来会議

(1) 目的

市民が考える三島の将来都市像とまちづくりの方向性について、様々な立場の市民の参画により検討し基本構想のベースとしていく。

(2) 参加者

区分け	人数
一般公募	11名
団体推薦（団体ヒアリング実施団体）	32名
大学生（日本大学短期大学部津山ゼミ）	9名
合計	52名

(3) 日程及び内容

期間：令和元年7月24日（水）～9月25日（水） 全5回開催

会場：三島市社会福祉会館4階 大会議室

回	内容
1	全体の検討 ①変化の兆しを捉える ②超長期的視点で三島に残したいモノ・コトを考える
2	分野別検討【ひと：文化・スポーツ・子ども・教育・健康・福祉】 ①2030年の【ひと】分野がどんな状態にあるのが良いか ②その状態に向かうための課題は何か
3	分野別検討【安全・安心：生活・環境・防災・防犯・交通安全】 ①2030年の【安全・安心】分野がどんな状態にあるのが良いか ②その状態に向かうための課題は何か～
4	分野別検討【まち：景観・道路・上下水道・公園・緑地・交通】 ①2030年の【まち】分野がどんな状態にあるのが良いか ②その状態に向かうための課題は何か
5	分野別検討【賑わい・活気：観光・交流・再開発・企業誘致・産業】 ①2030年の【賑わい・活気】分野がどんな状態にあるのが良いか ②その状態に向かうための課題は何か

(4) 会議の運営方法

グループワーク形式で話し合いを進めた。話し合いの前には各回の分野に沿った他市町の事例を紹介するインプットセミナーを実施し意見を出しやすいように工夫。

(5) 意見のまとめ（概要版）

回	分野	まとめ
1	全体	<p>三島市に残したいモノ・コトを各グループで話し合いを進めたところ“<u>人と人とのつながり</u>”が重要であるという意見が8班中7班から出た。</p> <p>それぞれの要素が充実してくることで、“人と人とのつながり”が強くなり、“人と人とのつながり”が強くなることでそれぞれの要素（【ひと】【まち】【安全・安心】【賑わい・活気】）が強くなるといった各分野を考える上での軸として捉えており、基本構想の骨格となるキーワードとして得られた。</p>
2	ひと	<p>「みんなが元気であることで、文化の発展や教育福祉の向上につなげていけるのではないか」など、健康・福祉が基盤であるという意見が多かった。また、子どもに対する意見も多く、教育を含め将来の人材育成が重要であるとの意見が多かった</p> <p>全体として得られた結果としては、<u>【健康】【福祉】</u>の分野を基盤としながら、<u>【子ども】【教育】【文化】</u>がそれぞれ繋がり関連しているような意見であった。計画策定にあっては一つの分野の取り組みだけに捉われないあり方の検討が必要と考えられる。</p>
3	安全・安心	<p>安全・安心を考える上で、「豊かさをプラス」するアプローチと「不安・危機感を解消する」アプローチが考えられ、8班中5班が豊かさをプラスしながら安全・安心を作っていく方が良いと選択した。</p> <p>“<u>コミュニティ</u>”の充実による人と人とのつながりの強化が安全・安心の基盤であるとも考えられる。また、市民の自助意識の向上も大事な要素として意見が多く、市民と共に創るという協働の視点で取り組む必要性があると考えられる。</p>
4	まち	<p>都市基盤の分野であったが、道路が狭い、危険といった意見が最も多かった。また、歴史・文化を生かしたまちづくりが必要という意見も多く、それらを生かした街づくりが求められている。<u>安全・安心に過ごせる都市基盤がベースであり、そのうえで三島らしさを生かし、賑わいに繋がるような整備やソフト対策、また課題を逆に生かすような発想の転換が必要ではないか</u>考えらえる。</p>
5	賑わい・活気	<p>観光の意見が最も多かった。三島市の地理的条件や交通アクセスなど観光のポテンシャルは高いと会議では意見が多かったが、PRの面、市内でのアクセスの面、駐車場の関係など課題も多く出た。</p> <p>また、通過点にならないようにとの意見もあり、<u>他地域との差別化、三島に訪れるきっかけを作っていく必要性</u>に関する意見も多く出た。</p> <p>観光以外でもアクセスの良さを強みにする必要性、三島らしさを生かしていく必要性の意見が多く、<u>今あるものを磨き上げ、繋がりを持ちながら地域を活気づけていく必要性</u>があると考えられる。</p>

3 団体ヒアリング・市民未来会議での主な意見と計画への反映について

団体ヒアリング、市民未来会議で伺った「あるべき姿・状態」「課題・意見」については以下のとおり計画書への反映を進めていく。

(1) あるべき姿・状態

ア 分野別意見（抜粋）

分野	数	意見抜粋
ひと	50	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う子どもたちが夢を持つ ・つながりが強い街 ・主体的に行動する地域リーダーがいるまち ・人が健康でいられるまちの状態 ・老人が便利に住めて行動範囲が縛られない状態 など
安全・安心	20	<ul style="list-style-type: none"> ・防災を意識しないでも平常時から防災になる街 ・災害時医療救護体制の充実しているまち ・あらゆる人がコミュニティでつながり、助けることのできる状態 ・子どもが安心して遊べるせせらぎがある状態 など
まち	45	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワークを活かした街づくり ・緑と水とうるおいのある街 ・心にゆとりを持つことのできるような開かれた街の状態 ・道路をゆとりをもって使える状態 ・整備された道と街並み、広場、公園がありコミュニティの中心となっている状態 など
賑わい・活気	59	<ul style="list-style-type: none"> ・住む人にとっても、訪れる人にとっても良い街 ・若者が集い、賑わいのある街 ・交通の便を生かし、三島市にお金が落ちるような状態 ・観光客が何度も三島に来る、長くとどまる状態 ・歩いて回れる街並みをアピールできている状態 など
横断・行財政	17	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣、わいわい・がやがやする街 ・広域の都市圏で役割を分担し、特徴を持った街に など
合計	191	

*分野を横断する重複のものあり

イ 反映の方法

反映箇所	検討の流れ
将来都市像	<ol style="list-style-type: none"> ①政策企画課で市民未来会議の意見をもとに案の作成 ②プロジェクトチームで案の検討 ③策定委員会、審議会を経て候補案の決定 ④候補案に対する意見の募集 ⑤審議会を経て議決
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> ①プロジェクトチームでキーワード選出 ②政策企画課でキーワードをもとに案の作成 ③プロジェクトチームで案の検討 ④策定委員会、審議会を経て議決

(2) 課題・意見

ア 分野別意見（抜粋）

分野	数	意見抜粋
ひと	72	<ul style="list-style-type: none">・高齢になっても健康で暮らせるような施策の充実・子育て支援、健康づくりの両面から子どもと高齢者が交流できる場があると良いと感じる・何をしても地域の催しなどに出てこない人をいかに外に出すかが大事ではないか・各種窓口（機関）の連携強化・教育における IT のさらなる活用が必要ではないか・児童クラブの場所不足問題に空き家の活用が必要
安全・安心	33	<ul style="list-style-type: none">・小さいうちから防災の意識を高める必要性・子どもが安全に外で自由に遊べる場所の確保が必要・ゴミの出し方の周知のさらなる工夫が必要・森林の適切な維持管理が必要・自転車、自動車の運転マナー徹底の取り組み
まち	49	<ul style="list-style-type: none">・郊外に分譲団地における対策が必要ではないか・三島市の歴史や宿場町としてのなごり、自然の景観などを生かしきれていないのではないか・花の管理における市民協働をもう一段上のレベルに引き上げる必要性がある・歩行者の安全を考慮した歩道の整備・街中の道路は一方通行が多く、間違える車もあり対策が必要ではないか・維持管理費を考えると水道料金の見直しが必要では・三島駅のバスロータリーは安全・安心に降りられる工夫が必要ではないか
賑わい・活気	66	<ul style="list-style-type: none">・三島市内で若者が就職したいと思えるような仕事がないのではないか。対策が必要と考える・立地や歴史、文化など三島の良さを生かした産業振興が必要ではないか・何を観光として売っていくのかの明確な戦略が必要・駅前商業化による若者流入の促進が必要・農家の高齢化対策が必要
横断・行財政	27	<ul style="list-style-type: none">・自治会への参加意識の低下に対応する必要、新たな協働の在り方の検討が必要・市民の要望全てを聞くのは難しいので財源の重点的な配分が必要
合計	247	

*分野を横断する重複のものあり

イ 反映の方法

反映個所	検討の過程
各施策	①市民との課題認識のずれを確認するため、課題を所属別に分類し、対応状況等について調査 ②課題と認識しながらも対策ができていない要因や事業の優先順位の在り方を基本計画策定時に検討する素材としていく。